

鳩山首相 辞任

普天間・政治と金・くらし……。公約違反に国民の怒り



党県書記長
川内たかし

数々の公約違反で国民の願いを踏みにじった首相の辞任は当然です。県民のみなさんから、「暮らしがたいへん。雇用を守って」「農業の再生を」「後期高齢者医療制度はなんとかして」など切実な要求が寄せられています。私はみなさんの願いをしつかり受け止め国政に届けます。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

国民の強い批判を受けた鳩山首相が2日、辞意表明しました。国民の期待に背き、公約を裏切った鳩山首相と民主党の数々の行為が、国民的な怒りに包囲された結果です。

国民の期待に背き、公約裏切りの政治

「国外・県外」の公約を踏みにじり、辺野古に押し付け。暮らしの問題でも後期高齢者医療制度撤廃先送り。製造業の派遣労働を認める“抜け穴”の派遣法改正案など、首相の辞任は国民の期待に背き、公約を裏切った政治が、国民的な怒りに包囲された結果です。

アメリカ・財界言いなりの政治の転換こそ

首相が辞めたからと言って辺野古への日米合意は存在。政治と金の問題でも、小沢幹事長の証人喚問を民主党は拒否しています。このように鳩山首相と民主党がここまで転落したのは、「アメリカと財界にモノが言えない」政治にあります。日本共産党は、アメリカにも財界にも堂々とモノを言い、政治の改革をすすめます。

6月定例議会

6月定例市議会は10日、11日に議案質疑と一般質問が行われます。共産党市議団は、市民のみなさんから寄せられた願いの実現をめざしががんばります。傍聴にお越しください。

■小菅六雄 市議

暮らしと命を守る国保制度を
国保税が32%もの大幅な値上げ。「もう支払うことができない」怒りの声が広がっています。

国保は法律に基づく社会保障制度にもかかわらず国が市町村国保への国負担分を大幅に削減。この削減が国保税の値上げにつながっています。命を守る国保制度を求めます。

■野並享子 市議

市内中小企業の抜本支援策を
地域経済を支えているのが中小企業。ところが深刻な不況の中、厳しさを余儀なくされています。

市が市内中小企業の実態を調査し、具体的な支援・振興策を進めることが必要です。地元で生産・加工・販売・流通の連携や「農商工」で仕事と雇用の創出など、抜本的な中小企業対策を求めます。

■太田健一 市議

市として新卒者の就職・雇用施策を
市内でも新卒者や若者の就職や雇用が深刻。こんな事態に追いやっているのは、大人の責任であり政治や行政の責任です。

野洲市でも行政が市内新卒者の実態調査や雇用を調査し、市として就職難や雇用問題を打開する独自の施策を講じるべきだと思います。市の姿勢を問います。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2010年6月4日 №201

暮らしのご相談・要望
お寄せください

小菅六雄 (電話・FAX) 589-4971 (メール) shgdy177@ybb.ne.jp
野並享子 (電話・FAX) 587-0985 (メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp
太田健一 (電話・FAX) 588-3169 (メール) kensan.world21@docomo.ne.jp

市議団ホームページをご覧ください
<http://www.yasusigi.net/>